

ジオサイト清掃活動に発電所員も参加しました

5月13日に尻労地区で行われた東通村・東通村教育委員会・東通村観光協会・東通村商工会等共催の「ジオサイト清掃活動」に、当発電所から19名が参加しました。

当日は、尻屋崎ジオサイトに含まれる尻労地区の海岸において、発泡スチロールや空き缶、漂着した漁具など、約1トンのゴミを拾い集めました。

当発電所では、これからもさまざまな活動を通じて、下北ジオパークを盛り上げてまいります。



ゴミを拾い集める発電所員（上）
約200名が参加したジオサイト清掃（右）



国道338号沿道の清掃活動を実施しました

当発電所と協力会社で組織する「東通原子力発電所安全衛生推進協議会」は、5月10日、発電所周辺の国道338号沿道（約4km）の清掃活動を実施しました。

当日は、発電所員および協力会社社員の計56名が参加し、可燃ゴミや空き缶など、約110kgのゴミを拾い集めました。

同協議会では、今後も沿道清掃を通じて、地域の環境美化活動に取り組んでまいります。



道路脇のゴミを丁寧に拾い集める参加者

東通村春季ゲートボール大会に発電所チームが参加しました

5月14日に行われた東通村ゲートボール協会主催の「東通村春季ゲートボール大会」に、当発電所チーム「つちおと」が参加しました。

当日は、白糠浄化センター近くの会場において、東通村内の方々との交流を深めました。

発電所では、これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしております。



1勝2敗と健闘した発電所チーム（左側）

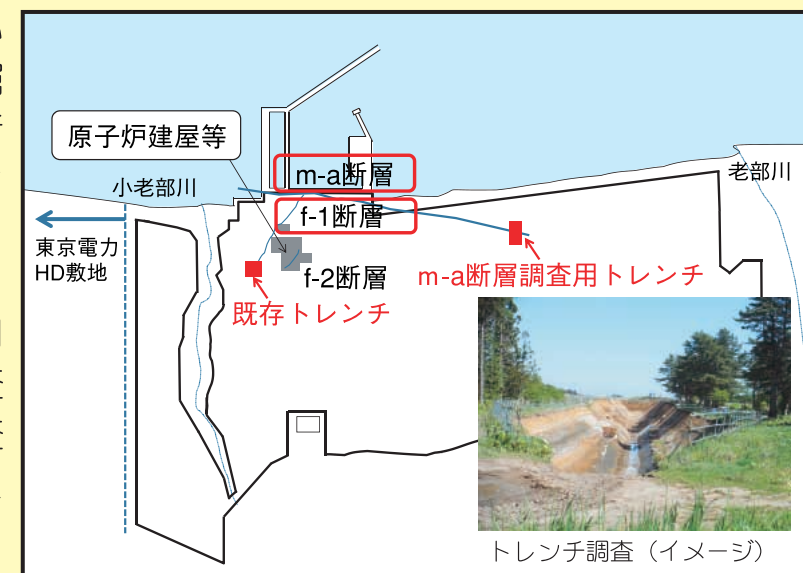
発電所敷地内断層に関する追加調査を実施しています

当発電所の敷地内断層については、現在、原子力規制委員会による新規制基準適合性に係る審査会合において、審査が進められています。

3月17日に開催された審査会合では、耐震重要施設直下のf-2断層については「将来活動する可能性のある断層等」に該当しないことの確認がなされましたが、m-a断層とf-1断層については、さらなるデータの拡充を求められました。

これを踏まえ、当社は、今後の審査における説明性の向上を図るため、5月18日からm-a断層については、新たなトレンチ^{*}掘削を行うとともに、f-1断層についても、既存トレンチの追加的な掘削を実施しています。

なお、調査期間は3カ月程度を予定しており、調査結果については今後の審査会合で説明していくこととしています。



※トレンチ：地形や地質分布、断層の性状等を調査するための溝

調査位置図